

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業			担当部局	高等教育局		
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和11年度	担当課室	高等教育企画課	作成責任者 高等教育企画課長 小幡 泰弘	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	・「第6期 科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日閣議決定) ・「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)」(令和4年5月10日教育未来創造会議) ・「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定) ・「人文科学・社会科学系における大学院教育改革の方向性 中間とりまとめ」(令和4年8月3日中央教育審議会大学分科会大学院部会) ・「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ(第二次提言)」(令和5年4月27日教育未来創造会議)		
政策	4 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-16.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は、物理的な距離を超え、複数の人文・社会科学系大学院や産業界・公的機関等といった社会と繋がる教育研究ネットワークを構築することにより、小規模・分散的な教育研究指導体制から、スケールメリットを發揮したチーム型の教育研究や組織的な就職支援体制への転換を進める。これにより、社会との接点を持つ、学生の関心に沿ったきめ細やかな研究指導がなされる環境の構築を推進し、ネットワーク型の教育研究を通じて社会の期待に応える新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルを構築し、キャリアパスの拡大や処遇向上、大学院教育の質的改善を進めることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	SDGs等の国際的価値基準の浸透や、これに基づくエシカル消費・ESG投資といった行動変容に代表されるように、社会経済活動は、機能的価値から意味的価値を重視する時代へとシフトしつつある中、価値発見・価値創造的な視座を提供する人文科学・社会科学分野に対し高い期待が寄せられており、こうした分野の高度人材の育成・輩出を促進する必要がある。 一方で、我が国においては、諸外国に比べて人文科学・社会科学系の大学院進学率が極めて低く、修了者のキャリアパスが極めて限定的であることに加え、小規模・分散的な専攻が多い実情により、スケールメリットを生かした取組が進んでいないといった課題が指摘されており、大学院教育の抜本的な改革が急務となっている中で、令和4年8月には、中央教育審議会大学分科会大学院部会において「人文科学・社会科学系における大学院教育改革の方向性 中間取りまとめ ～自主的な「問い」の尊重と教育課程として果たすべき責任の両立に向けて～」(以下「中間とりまとめ」という。)が取りまとめられ、人文・社会科学系大学院の課題と改革の方向性が示されている。						
事業概要 (5行程度以内)	中間とりまとめにて指摘されている人文科学・社会科学系大学院における課題(産業界等で活躍するような幅広いキャリアパスを念頭に置いた教育になっていない、小規模な専攻が多く学生のテーマに合う研究指導や組織的なキャリア支援が行われていない等)の解決に向けて、ネットワーク型の教育研究を通じて社会の期待に応える新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルを構築し、キャリアパスの拡大や処遇向上、大学院教育の質的改善を進める取組を支援する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/jinsya-network/index.html						
実施方法	補助						
補助率等	定額補助						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	228	652
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	228	652
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	高等教育振興費			重要政策推進枠 420百万円		
	(目)	研究拠点形成費等補助金	227	651			
	(目)	研究拠点形成費等業務庁費	0.4	0.3			
	(目)	研究拠点形成費等業務旅費	0.3	0.5			
	(目)	研究拠点形成費等委員等旅費	0.3	0.3			
		その他	▲ 0	▲ 0			
	計(A)	228	652				

活動内容① (アクティビティ)		ネットワーク型の教育研究を通じて社会の期待に応える新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルを構築し、キャリアパスの拡大や処遇向上、大学院教育の質的改革を進める取組を支援。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		新たな人文・社会科学系大学院教育モデルの構築・展開	プログラム実施件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	5	13
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		本事業により構築する、新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルによる人材の養成・輩出が計画通りなされているかを確認する観点から設定。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		構築した教育研究プログラムの受講及び修了	新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルによる大学院教育を修了した学生数	成果実績	人	-	-	-	-	
				目標値	人	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省における事業実施状況調査 ※目標値は事業選定大学の事業計画を踏まえ決定する予定								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		本事業により構築される組織的な就職支援体制が計画通りなされ、新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルによる大学院教育を修了した学生のキャリアパス構築・拡充の実現性を、これらの観点含め取組の進捗状況について採択3年度目に総合的に評価を行う「中間評価」(実施主体:外部有識者により構成される評価委員会)の結果から確認するために設定。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		ネットワーク型の教育研究を通じて社会の期待に応える新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルを構築し、キャリアパスの拡大を進める	中間評価のA評価以上の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	80	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業委員会」(外部有識者により構成)による中間評価								
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		本事業により構築された新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルによる大学院教育を修了した学生が、本事業により構築される組織的な就職支援体制も受けて就職し、もってキャリアパスの構築・拡充が着実になされているかを確認する観点から設定。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 11 年度	
		ネットワーク型の教育研究を通じて社会の期待に応える新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルを構築し、キャリアパスの拡大を進める	プログラム修了生の就職率	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省における事業実施状況調査 ※目標値は事業選定大学の事業計画を踏まえ決定する予定								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

文部科学省
228百万円

庁費 0.4百万円
業務旅費 0.3百万円
委員等旅費 0.3百万円 } を含む

ネットワーク型の教育研究体制の構築により研究 指導
やキャリア支援機能の強化を図りつつ、企業や 公的機
関等の参画を促し社会の期待に応える新たな 人文科
学・社会科学系の大学院教育モデルを実現するための
取組を支援

【補助金等交付】

A. 国立大学法人等(全5機関)
200百万円

ネットワーク型の教育研究体制の構築により研究 指導
やキャリア支援機能の強化を図りつつ、企業や 公的機関
等の参画を促し社会の期待に応える新たな 人文科学・社
会科学系の大学院教育モデルを実現するための取組を
実施

【補助金等交付】

B. 独立行政法人日本学術振興会
27百万円

本事業の審査・評価等を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何をを行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計			計		